

「コープス」及び「CO・OP」商品に関する品質保証体制の強化

5つの強化課題

- (1) 開発プロセスの管理
- (2) 製造段階の管理
- (3) 調査（点検・検査）の管理
- (4) 組合員とのコミュニケーション
- (5) 日生協CO・OP商品の品質保証への関わり



(1) 開発プロセスの管理強化

商品（コープス）がデビューする前のプロセスを補強します。

① コープスを委託する取引先選定において、評価基準を強化します。

- ・ 選定のための評価は、企業の経営状況、製造環境、品質管理体制と事故の際の保証能力なども加えて評価基準を強化し、その運用の徹底を進めます。
- ・ 製造を委託する取引先評価だけでなく、コープさくらの直接取引先である帳合先企業などについても、品質管理体制や検査などの管理能力を調査します。

② 開発段階で、商品仕様規格のリスク評価を再強化します。

- ・ 商品開発の起案段階で、総合品質保証室と商品検査センターによるリスク評価を行います。（原料や製法などの特徴から想定されるリスクや原料産地や製造委託メーカーの生産能力検証など）
 - ・ リスク評価に基づき、開発後の検査や点検項目を明確にします。
- ※今後の開発品から開始、既存品は順次評価を実施していきます。



<開発の主なプロセス>

○開発計画の立案

○取引先の選定

←①評価基準の強化

○原材料の産地点検

○試作品の検討

←②仕様規格のリスク評価

○仕様の決定

○表示の作成・点検

(2) 製造段階の管理強化（食品工場や関連会社の管理について）

3つの事故を、コープこうべの食品工場に置き換えて管理の整備を行ないます。

① コープこうべの食品工場や関連会社の管理を一層強化します。

- ・ 開発起案～仕様書作成～包材表示～原材料受入検査～製造工程～製品検査まで一連の管理について適切性を再検証します。



- ・ 外部者の工場内への立ち入り管理が十分であることを検証します。見学者も含め外部者の立ち入りから想定されるリスクを洗い出し、経路や管理方法の検討を進めています。
- ・ コープこうべと関連会社の連携をより充実させます。日常の実務支援とあわせて、コープこうべによる品質監査も導入して管理の強化を進めています。

(3) 調査（点検・検査）の管理強化

品種の限定など、こだわりの原料や製造方法が仕様規格となっている商品のリスク評価を行ないます。

(3)-1 コープスが仕様書どおりに生産されているかの点検を強化します。

① 原料の生産地まで踏み込んだ点検

原料生産地の生産環境の変化による収穫量の減少や国産品と海外品の品質と価格の問題（特に品質に差異がないのに価格差の大きい原料）は偽装につながりやすい商品群として原料原産地まで踏み込んだ調査をします。DNA 検査が可能なものは、検査を導入していきます。

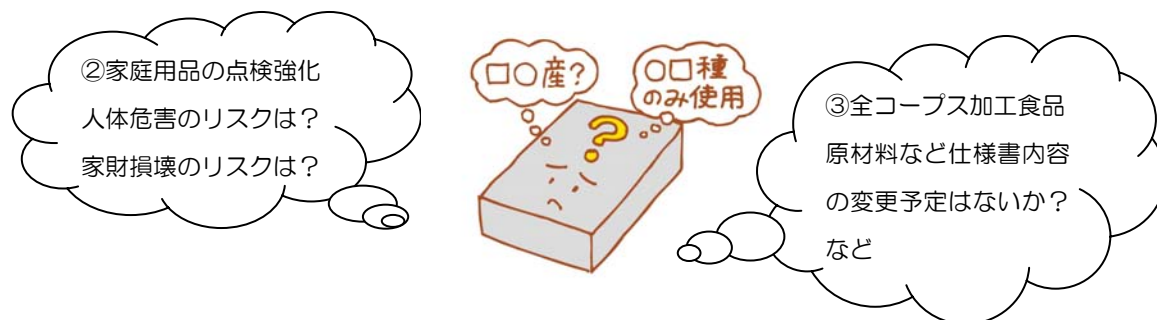
② 家庭用品の委託先点検を強化します

次の視点で、あらためて検証します。

- ・ 開発から年数が経過したものは、最初の仕様規格が維持できているか。
- ・ 人体危害や家財損壊を招く可能性のある商品（化粧品、掃除用品、調理器具など）の仕様と製造管理は適正か。

③ 全コープス加工食品の仕様書記載事項の確認

コープこうべと取引先による相互確認を実施しています。「原材料など仕様書内容の変更予定はないか」「入荷原料の適正はどのような方法で確認しているか」「仕様書の内容で今日的な課題をかかえていないか」などを確認し合って、双方でリスク防止を行いません。また、管理のあいまいな商品は訪問調査に展開し、偽装の未然防止を図ります。



(3)-2 中国製品に関する調査（点検・検査）を強化します。

① 中国製造加工品は現地訪問調査を行ないました。

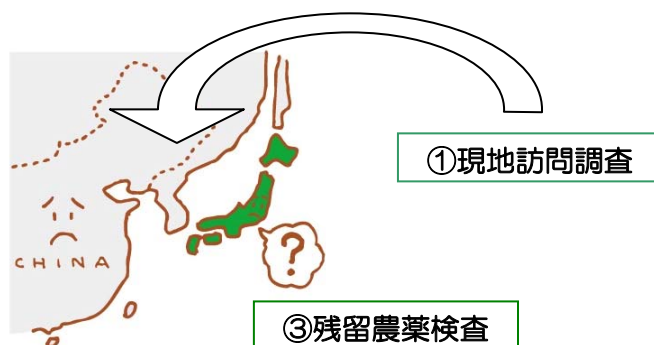
- ・ コープス加工品36品目のコープこうべによる現地調査を完了しました。
- ・ 今後もコープこうべの直接調査と帳合先などによる調査を一元管理できるよう連携を強化して継続して調査を行ないます。

② 中国産を主原料としたコープス商品の原料管理体制の強化をすすめています。

- ・ 製造委託メーカーの原料受入れ基準が妥当か評価をし、不十分な部分は管理強化の要請と訪問点検の計画を立て、改善を進めています。
- ・ 製造委託先による原料受入れ検査をコープこうべが確認する体制を確立します。

③ 中国関連の検査の幅と頻度を高めます。

- ・ 中国製造加工品及び包材に中国表示としているコープス70品目についてメタミドホスとジクロロポスの検査を実施、検出はありませんでした。
- ・ 生鮮食品の残留農薬検査だけでなく、コープス加工食品についても中国製造及び中国原料の表示をしている商品は、有機リン系82農薬の残留農薬検査を今後も行ないます。

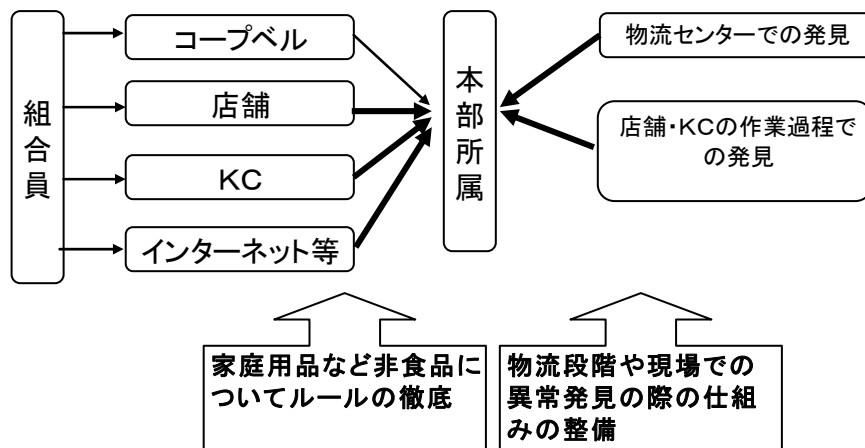


(4) 組合員とのコミュニケーションの強化

お申し出情報の一元管理やルール順守は重要な課題だと受け止め強化をします。

① お申し出対応力の強化を図ります。

- ・ 組合員からのお申し出がルールどおり確実に集約できるよう徹底します。
現在のルールの順守と、特に家庭用品などの非食品について再確認と周知徹底を強化します。
- ・ 組合員からのお申し出だけでなく、現場や物流段階での「異常発見」の際のアラーム基準について整備をし、情報として管理をする仕組みをすすめています。
- ・ 情報や現物の商品から重大性を管理するチェックリストをあらたに作成し、個人ではなく、組織的な評価や判断を図る仕組みをします。
重大な問題が発生する可能性がある時は緊急対応の手順をすすめます。
- ・ 情報を一覧で確認できる仕組みを検討し、確立します。



② 情報開示の研究を行ないます

中国製品の問い合わせが増える中で、商品情報を求める声が多く寄せられていますので対応を研究します。

- ・ 当面、め～むには商品の包材に表示している商品について、製造国や原料原産地を表示いたします。
- ・ 商品の仕様書情報をホームページで開示するよう研究を進めています。

③ 職員学習を強化し、職員の対応力を高めます。

現場所属の全所属長、副所属長、部門チーフ、本部商品部スタッフに説明会を実施しました。

- ・ 今回の3つの商品事故の経緯と課題の共有化
- ・ コープこうべの品質保証の仕組みと、今回の事故を受けた取り組みの強化
- ・ 組合員からのお申し出や異常発見時のルールの再徹底と、ルール順守の指導

(5) 日生協 CO・OP 商品の品質保証への関わり



① 日生協の取組概要

- ・ 日生協 CO・OP 商品で中国国内の工場に製造委託している 60 社について、緊急の訪問調査を行いました。この調査には、会員生協も同行、コープこうべからも同行して調査をしました。
- ・ 中国製造加工品及び原料に中国生産品を使用し、包材に表示しているものについて、メタミドホスとジクロルボスの検出検査を行い、検出がないことを確認しています。
- ・ 品質保証体制・再構築への取り組みをすすめています。
第三者検証委員会を設置し、現在の生協の品質保証体制の評価と今後の強化策について、客観的・専門的な見地からの検証をすすめています。
日生協と各生協参加による3つの対策強化委員会を設置し、抜本的な改善策の検討に入っています。

3つの対策強化委員会

「品質管理強化対策委員会」

「お問合わせ・苦情対応強化委員会」

「クライシス対応強化委員会」

※委員会報告は5月下旬を予定し、これらの委員会の検討を元に品質保証体制を再構築します。

② 日生協コープ商品の品質保証体制への関わり

上記の「品質管理強化対策委員会」にコープこうべからも委員として参画しています。
この中で、現状の日生協の品質保証体制の評価と改善要請を行います。

③ 日生協コープ商品の品質保証への関わり

- ・ 日生協 CO・OP 商品の中国製造品、主原料が中国の商品について、日生協の検査結果の提出を要請し、適正度を確認します。
- ・ コープこうべが取り扱っている日生協コープ商品のクレーム分析結果の開示を求めます。そして、コープこうべでの日生協商品のクレーム分析の結果とあわせて、該当する製造委託先メーカーの点検結果の報告を求め、必要に応じて、コープこうべからの点検を行ないます。

以上